

電磁遮へいケーブルとして国内初のJQA規格適合

昭和電線電纜株式会社（取締役社長：権正信行）は、ノイレックス[®]ケーブルにつき、電磁遮へいケーブルとして国内初となる財団法人日本品質保証機構（JQA）の「コンピュータセキュリティ関連製品 電磁遮へいケーブル検査規格」適合を取得いたしました。

今回の規格適合は、当社のノイレックス[®]ケーブルについて、ケーブルに電圧を加えた場合の静電遮へい性能、電流を通電しての電磁遮へい性能が、評価されたものであります。

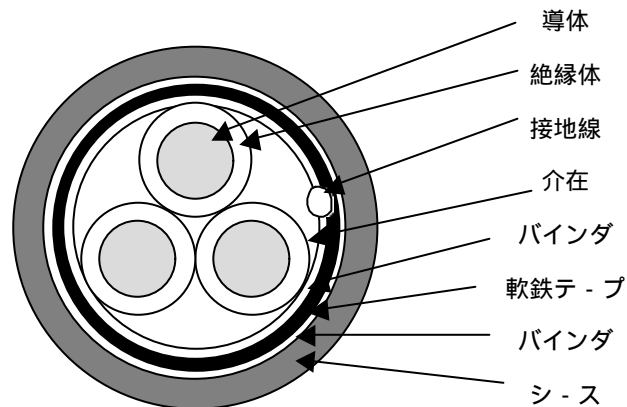
データセンターのコンピュータ回線等のケーブルでは、静電誘導、電磁誘導による誤動作の防止対策が重要となっており、誘導障害を防止する電源用ケーブル、制御用ケーブルが要求されています。

この度の取得により、インターネットデータセンター(IDC)建設等、今後、電磁誘導等による誤動作の防止が強く求められるIT関連の需要を見込み、ノイレックス[®]ケーブルの製品優位性、信頼性をさらにお客様にPRし、拡販を図ってまいります。

ノイレックス[®]ケーブルの特長は、以下のとおりであります。

- (1) 面倒な電線管敷設なしで、電線管敷設ケーブルと同等の電磁遮へい効果が得られる。
- (2) 鉄テープに軟銅より線をたて添えした構造であり、銅・鉄テープ巻きケーブルより、可とう性に優れ、扱い易い。
- (3) 遮へい層に用いている軟銅より線はそのまま接地線用として用いることができるため、接地処理作業の省力化が図れる。
- (4) 電線管敷設が不要のため、コスト面で有利。
- (5) 電源用のみならず制御用ケーブルや環境への負荷を低減したEM（エコ）ケーブルにも適用可能。

ケーブル断面図



性能比較 : : 優、 : 良、 : 可

	ノイレックス [®] ケーブル	一般ケーブル+電線管	銅・鉄ケーブル
ケーブル構造	軟銅より線縦添え軟鉄テープ巻	遮へいなし	銅テープ・軟鉄テープ巻
ケーブル可とう性			
遮へい用電線管	(不要)	(必要)	(不要)
電界遮へい性能			
磁界遮へい性能			
総合評価			

「ノイレックス」は、当社の登録商標です。

以上

この件に関するお問合せは、下記へお願いいたします。

広報：総務部 法務・広報グループ 044-344-1111

日本品質保証機構（JQA）の「セキュリティ関連製品認証制度」の認証について

JQAでは、通常の製品機能・性能に加え、これまでのノウハウを基に、これらセキュリティ関連製品に求められる機能・性能を追加した独自の製品基準を策定しています。認証のための検査には、製品検査とその品質管理体制の検査との二つのフェーズがあり、基準に適合すると適合書が発行され、リストに登録、公表されます。

日本品質保証機構（JQA）の性能測定について

電界測定は、電界強度を直接計測できる測定器は無いため、電界強度と密接な関係のある遮へい層の電位測定値より電界強度を算出し、データセンター等の一般的なコンピュータ機器の設置場所における電界強度基準1（V/m）と比較した。その結果、ノイレックス[®]ケーブルの遮へい層電界は1（V/m）以下で遮へい効果があることが確認された。

磁界測定は、磁束密度測定値より磁界強度を算出し、データセンター等の一般的なコンピュータ設置場所における磁界強度の基準0.5（A/m）以下と比較した。ノイレックス[®]ケーブルは、75cm以上の離隔距離を確保すれば0.5（A/m）以下を満足することを確認した。ここで、電磁遮へいのため一般に適用される電線管敷設ケーブルでは50cm以上の離隔距離が必要であった。ノイレックス[®]ケーブルは電線管敷設ケーブルの離隔距離50cmには及ばないものの、75cm以上の離隔距離を確保すれば面倒な電線管敷設を行う必要が無く、電線管敷設ケーブルと同レベルの電界・磁界に対する遮へい効果を有することが確認された。

以 上